

# 仙台市議会 市民フォーラム仙台 議会活動レポート

2015年  
夏号

仙台市議会議員  
(泉区)

あびこ  
安孫子雅浩

発行/市民フォーラム仙台・編集/安孫子雅浩  
〒980-8671 仙台市青葉区国分町三丁目7-1  
TEL 022-398-4156 FAX 022-711-3452



## 6月議会(平成27年第2回定例議会)が開かれました

東日本大震災により選挙が延期され、平成23年8月より4年の任期をいただいた議員任期最後の仙台市議会定例議会が終わりました。

最も熱い議論となったのは、昨年末の衆議院議員選挙時の青葉区における開票事故により市役所職員3名が懲戒免職処分となり、その監督責任として市長ならびに副市長の給与を減額するものでした。

給与20%減額3カ月は妥当か否かでありましたが、我が会派では、責任の取り方として軽すぎるとして再三、市長に再考を求めました。しかしながら否決すれば、今回の重大事案によって失った市役所への信頼回復に一刻も早くあたるべきところを、その時間を遅らせることとなります。それは任期中の議員の責任とし遅延させてはならないと判断し、討論において、一日も早い市政の信頼回復

に全力で取り組むことを市長に強く求めた上で、議案を可決させました。

肝心なのはこれからです。市長が再三答弁で述べた責任の履行とともに、仙台市議会議員選挙での適正な事務の執行を、我が会派では監視していきます。

今議会では、私も一般質問に立ち、復興のその先の仙台に視点を置いて質疑をおこないました。

泉区は今や、少子化と高齢化が市内5区の中で最も進んでいる住宅地区となっています。

その泉区の“地域を明るく照らす灯り”になれるようこれからも頑張っております。

市民フォーラム仙台代表 **あびこ 安孫子雅浩 拜**

### 防災減災推進調査特別委員会委員長として調査報告を行いました。

約2年にわたり、大震災の被災経験を生かした防災力の向上と被害を少なくする為の課題や方策等に取り組み、主に避難所のあり方、防災訓練、地域防災リーダーの3点について調査活動を行い、地域の防災や減災対策について報告書を取りまとめ議長に報告しました。



### 今議会で決定した議会の取り組み

- 歩きたばこを防止する条例が成立しました。  
市内中心商店街等の市長が指定する重点区域では歩行喫煙が制限されます。施行は来年4月1日。
- 議会会則を改正し、欠席の理由に「出産」を明記しました。  
これまでは事故理由となっていたものを改めました。
- 正副議長は、次回から「所信表明をおこない選任」することとなりました。  
5人以上の推薦人による立候補制により新たな正副議長が決定します。

### ★2割増し商品券が11日(土)から販売されます!

40万枚販売(1人3セットまで)1万円の商品券で1万2千円分買い物できるプレミアム商品券は、泉区内では、泉中央ペDESTリアンデッキ上や、みやぎ生協の店舗内で販売し、また13日からは郵便局で販売されます。(使用は今年末まで) お問合せ先 商品券コールセンター ☎022-266-1301



# 平成27年第2回定例議会報告

任期中最後となる定例議会は先月開かれ、一般質問に立ちました。テーマは、高齢者、教育、安全なまちづくり、スポーツと健康づくりの4点です。以下に、質疑内容をご紹介します。(抜粋)



## 高齢化

**問** 4月からの介護保険の制度改正により、老人ホームやデイサービスをはじめ介護サービス事業者の悲鳴が聞えている。市の早急な対策を求める。

**答** 改定の影響の把握に努めるとともに、事業者の運営やサービス利用に支障が生じる場合には、国に対して必要な財政措置を講じるよう働きかけてます。

**問** 高齢化の進行とともに健康寿命の延伸が市民の一大関心事になり各種、体操教室などは盛会である。市が旗振り役となって、シニア世代の健康寿命の延伸に向けた積極的な推進を問う。

**答** 高齢化が一層進行していく中で、市民が年齢を重ねても健康であり続け、自分らしく暮らすことができるよう、身近に運動ができる環境と仕組みづくりをさらに進めます。

**問** 団塊シニア世代高齢者をはじめとして「老人」呼称は馴染みにくく抵抗感があるとの声が多い。老人福祉センター、老人憩いの家など「老人」呼称は見直すべきと考えるが問う。

**答** 老人という呼称に違和感や抵抗感を持つ市民もいることから、他都市の事例も参考にしながら、どのような呼称がふさわしいのか検討してます。



仙台うみの杜水族館、7月1日に宮城野区中野に開館しました。

## 教育

**問** 仙台市の教育大綱には、歴史と国語教育に力をいれて仙台・東北人としての誇りと自信をもった人材の養成を柱に加えて策定することを求める。

**答** 本市の将来の復興を担う子供たちが、東北・仙台の文化や歴史をしっかりと身に付け、これを生かして国際社会の中で活躍できることは大変重要なこととの視点を持って、大綱の策定を進めます。

## 安全なまちづくり

**問** 毎朝交差点に立って、交通安全の声掛け活動を行っているが、路面の歪みや亀裂、白線や横断歩道の劣化が目にする。市民の交通安全のために交差点の適切な維持管理の計画的な実施を求める。

**答** 交差点は道路を通行する歩行者や自転車と自動車交通が輻輳し、事故も多いことから、より適切な維持管理が重要であると認識し、道路の損傷状況を現地調査して、緊急性も考慮して適切に対応します。



## スポーツと健康づくり

**問** 仙台ハーフマラソンは素晴らしい大会に発展している。この仙台ハーフを、東部地区の復旧事業の後に、震災犠牲者への慰霊と復興への誓いを刻む「仙台フルマラソン大会」への切り替え。

**答** 沿岸部の道路をコースとして使用する場合における安全の確保ほか、開催時期の選定、交通規制など様々な課題もあることから、本大会の見直しについては長期的な視点にたって検討します。



### 市民フォーラム仙台会派室

〒980-8671 仙台市青葉区国分町3-7-1  
TEL 022-398-4156 FAX 022-711-3452  
E-mail : info@minshu-sendai.jp  
URL : http://www.minshu-sendai.jp/

### 事務所

〒981-3106 泉区歩坂町3-12  
TEL 022-373-6052/TEL 022-725-5715  
FAX 022-725-5716  
E-mail : abiko\_masa@i.softbank.jp  
ホームページ : http://www.abiko-sendai.net/

あびこ雅浩 Facebook

